

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | | |
|---------------|--|---|--|---|
| 所属名 | 産業建設部 維持管理課 | | No. | 1 |
| 事業名 | 土地改良施設維持事業 | | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 5 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | |
| | 基本政策 | 2 | 産業・経済 | |
| 目的 | 農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。 | | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る。 | | <ul style="list-style-type: none"> 道路、河川及び橋りょう工事と調整、整合を図り、合理的に整備ができるよう、計画的な改修及び修繕を行う。 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> 用・排水路等、農業施設の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増大している。 農業経営に支障をきたさないよう、施設の維持管理を図る必要がある。 農地沿いの道路の法面、用・排水路の除草は、従来は農業従事者に担っていただいていたが、高齢化等もあり、町に対し、除草の要望が多く寄せられるようになっている。 町内全体の農業施設について、広域的・段階的に改修を進めていくには、財政的にも、将来の土地利用を想定しても、難しい状況にある。 | | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> 補助等を活用した土地改良事業での計画、整備を念頭におき、用・排水路等の定期的な点検や修繕、更新を行い、農業施設全般の維持管理を図る。 各区等からの農業施設に関する要望に対し、早期に回答するとともに、修繕等を行う。 | | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作 業 内 容 |
|----------|------------------------|
| 4 ~ 9 | 用排水路保守点検委託業務発注 用水管理 |
| 随時 | 用水路修繕等工事 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 5,187 | 9,500 | 9,327 |
| （内特定財源） | | 千円 | 0 | 1 | 1 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 人工 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金 額 | 備 考（充当先等） |
|-------------|-----|-----------|
| 大瀬川堰維持管理負担金 | 1 | |
| 合 計 | 1 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------|-----|-----|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

■特記事項

- ・昭和40年代の土地改良事業で整備された用排水施設の老朽化が進行しており、営農に支障きたす傾向がある。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 町が管理する用水のゲートや水門の動作確認の他、施設の構造により、グリス注油、操作盤の点検等を行った。
- ・ 4月下旬の田植え配水から9月下旬の配水終了までの間、用・排水の適切な通水に努めた。
- ・ 大雨や台風による被害を最小限に留めるため、町内の用水施設等を巡回し、流量を調整した。
- ・ 老朽化等による破損・漏水がみられた用・排水路や給水桝、取水口、埋設管の他、用水堰の手動ポンプ取替え等、施設の更新を行い、通水不良を改善した。

■ 評価

- ・ 修繕や改修工事が必要となった用・排水路等の農業施設を更新することで、農業経営に寄与することができた。
- ・ 各区や農業従事者からは、田植え配水が始まる頃に、農業施設の修繕に関する要望が多く寄せられるが、緊急度に応じ、対応することができた。
- ・ 工事は緊急でない限り、通水のない時期に限定されるが、農業経営に支障をきたさないよう、引き続き、他事業を念頭におき、施設の維持管理を図っていく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|---|--|----------------------|
| 所属名 | 建設部 維持管理課 | No. | 2 |
| 事業名 | 道路維持管理事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 3 | 災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する |
| | 基本政策 | 2 | 生活基盤 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、道路維持修繕等工事 ・ 道路樹木の維持管理 ・ 道路台帳更新業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民団体による道路樹木の維持管理 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路、道路付属施設等の公共土木施設を建設し、管理してきたが、老朽化により、多くの施設の修繕、更新が必要になっている。 ・ 過去の工事履歴等が台帳等に整理されているものの、舗装工事の施工後の掘り返し規制に関し、占用許可による工事等の窓口対応時に活用されておらず、矛盾が生じていたが、各占用者との事前調整により解消しつつある。 | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金等を活用し、道路、道路付属施設等の定期的な点検や修繕、更新を行い、利用者の安全確保と維持管理を図る。 ・ 電灯、安定器等の不具合が発生した街路灯のLED化を図り、コスト縮減に努める。 ・ 舗装工事について、占用工事の舗装復旧と調整を行い、生活道路の快適性を向上する。 ・ 各区等からの道路に関する要望に対し、早期に回答するとともに修繕等を行う。 ・ 窓口対応時の記録を残すことにより、窓口指導等の公平性を図る。 <p>【都市防災総合推進事業】 令和元年計画額 37,450千円（内特定財源 14,000千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会資本総合整備計画（防災安全交付金）」の交付対象事業となっている「効果促進事業」により、学校（避難所）から1キロメートル圏内の通学路を整備する。 ・ 工事の内容及び路線について、グリーンベルトによる路面標示工事を町道秋田64号線、町道柏森大口線及び町道南北線に、カラー舗装による路面標示工事を町道上小口51号線及び町道中小口31号線の交差点に、転落防止柵設置工事を町道秋田42号線に、横断防止柵設置工事を町道余野線に、それぞれ施工する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|-----|--------------|
| 4～3 | 道路樹木維持管理業務 |
| 5～3 | 道路台帳更新業務 |
| 随時 | 舗装、道路維持修繕等工事 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 56,428 | 74,178 | 74,116 |
| （内特定財源） | | 千円 | 0 | 17,200 | 17,400 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 1.1 | 1.1 | 1.2 |
| | 臨時職員 | 人工 | 2.8 | 2.8 | 2.8 |
| | 計 | 人工 | 3.9 | 3.9 | 4.0 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|--------|--------|----------|
| 道水路占用料 | 17,400 | |
| 合計 | 17,400 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------|-----|-----|----|
| | | | |
| | | | |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・主要町道の歩道について、定期的な樹木の剪定、除草剤散布、施肥等を行い、道路景観の維持に努めた。剪定は、中高木は造園業者に、低木の一部は地域団体にそれぞれ委託した。
- ・年間を通し、各区からの要望の他、現地を確認の上、必要と判断した道路側溝に溜まった汚泥等を浚渫した。
- ・各区からの要望に基づき、舗装・側溝を整備し、交通安全対策として、見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置した。また、通行車両への注意喚起のため、主に通学路上にカラー舗装やグリーンベルトを施工した。ただし、都市防災総合推進事業にて予定していた転落防止柵設置工事（町道秋田42号線）は、他事業（排水路改修）との調整により、令和2年度の施工とした。
- ・大屋敷地内において、鋭角な交差点を改良するとともに、丹羽広域事務組合水道部より移管された水源施設（ケーシング）を活用し、災害時にも活用できるよう手動ポンプを整備した。
- ・窓口で各区等から修繕の要望を受けた際は、その都度、現地確認を行うとともに、回答内容を記録し、緊急性の高い事案は早期に対応した。
- ・各占用者との事前相談時に、舗装復旧の調整を依頼し、舗装復旧時のコストの縮減と快適な道路環境の維持に努めた。

■評価

- ・道路側溝の修繕・整備や舗装工事、通行に支障となる草の除去等により、車両や歩行者の安全を確保することができた。
- ・補助事業により、通学路上にグリーンベルト、カラー舗装、防護柵を整備し、児童・生徒の安全対策を講じることができた。
- ・道路整備とともに水源施設を有効活用することで、複合的な災害対策を実施することができた。
- ・要望や窓口対応を記録することで、課内での情報共有が図られ、適切に対応することができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|--|-----|------------------------|
| 所属名 | 産業建設部 維持管理課 | No. | 3 |
| 事業名 | 河川排水路維持管理事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 5 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 基本政策 | 1 | 環境保全 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の維持管理を行うとともに長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 側溝横断管等の浚渫 ・ 住民団体への河川排水路の除草作業の委託 ・ 河川敷併用道路の草刈業務 ・ 河川排水路の維持管理工事 ・ 桜、自然歩道維持管理業務 | | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川排水路施設を建設し、管理してきたが、施設の老朽化、近年頻繁に起こる集中豪雨、宅地化の進展により、多くの施設の修繕及び更新が必要となっている。 ・ 組立排水路の老朽化が進んでおり、豪雨時に破損することがある。 ・ 道路側溝や排水路の暗渠化に伴い、浚渫要望の箇所が増えている。 ・ オープン水路でも、多量の堆積物や雑草により流下能力が低下する施設がある。特に、排水路敷における雑草の繁茂による草刈りの要望が年々増加している。 ・ 五条川堤の桜並木及び尾北自然歩道は、維持管理業務を事業者や地域団体へ委託しているが、豪雨、台風等で倒れる恐れのある桜の早期発見ができていない状況にある。 ・ 五条川堤桜の老木化により、将来的に、現在のような桜並木が保存できないことが危惧されており、桜並木の存続に向けた対策が急がれる。 | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助等を活用した土地改良事業で実施予定の排水路改修計画、整備を念頭におき、排水路等の修繕、更新を行い、排水路施設全般の維持管理を図る。 ・ 各区の浚渫要望は、現地の状況を勘案し、毎年同じ箇所とならないように計画する。また、今後の改修計画と併せ、雑草対策の施工方法を検討する。 ・ 五条川堤の桜並木及び尾北自然歩道は、草刈りを行っている団体から情報を聞きながら、危険箇所の対応を行う。また、堤防道路は、自動車や歩行者に支障が出ないように、越境した枝、枯死した幹及び枝を随時剪定し、両面で桜と尾北自然歩道の維持管理を行う。 ・ 五条川堤の桜並木は、現在培養している「おおぐち観鋭桜」の植樹準備のため、幹が空洞化している桜、菌等により病気になる桜の伐採や伐根、土壌改良を行う。 ・ 各区等からの河川・排水路に関する要望に対し、早期に回答するとともに修繕等を行う。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|-----|---|
| 4～6 | 各区側溝清掃土砂搬出 側溝横断管浚渫の実施（年間通じ） 住民団体による河川敷道路の除草（年間通じ） |
| 6～ | 業者委託による河川敷道路の除草 |
| 随時 | 排水路修繕等工事 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 27,607 | 35,340 | 41,997 |
| （内特定財源） | | 千円 | 2,052 | 4,314 | 5,634 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.9 | 0.9 | 0.9 |
| | 臨時職員 | 人工 | 2.2 | 2.2 | 2.2 |
| | 計 | 人工 | 3.1 | 3.1 | 3.1 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|--------------|-------|------------|
| ふるさとづくり基金繰入金 | 5,634 | 五条川堤桜保存事業等 |
| 合計 | 5,634 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------|-----|-----|----|
| | | | |
| | | | |

■特記事項

- ・昭和40年代の土地改良事業で整備された用排水施設の老朽化が進行しており、各所で法面土砂流出による管理道路崩落や断面阻害による通水不良が出ている。

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・五条川堤の桜の保全のため、地域団体に河川の草刈り業務や施肥管理を委託した。
- ・五条川堤の桜並木の将来への存続に向け、近隣市及び関係機関との検討・調整を行った。
- ・桜の害虫防除のため薬剤散布を年2回実施し、桜の保全や尾北自然歩道の利用者への対策を講じた。
- ・町道及び尾北自然歩道の全区間において、交通障害となっている桜の枝の剪定や伐採を行い、一部区間において、捕植に向けた間伐を行った。
- ・植樹に適した大きさまで生育した「おおぐち観鋭桜」を公共施設等（広場、古墳）に植樹を行った。
- ・合瀬川、巾下川等の河川敷併用道路の草刈りを行い、車、自転車等の安全な通行を確保した。
- ・年間を通し、各区からの要望の他、現地を確認し、対応が必要と判断した箇所用の排水路に溜まった汚泥等を浚渫した。
- ・各区からの要望による老朽化した組立水路の他、法面のコンクリート補修、整備工事を施工した。

■評価

- ・五条川堤の桜の保全は、草刈り等による地域団体の協力が大切な要素になっているため、引き続き、地域団体と行政との役割分担に十分配慮しながら進めていく。
- ・五条川堤の桜並木の存続は、引き続き既存の桜の間伐等を行い、近隣市及び関係機関との協議は、情報共有と共通認識のため、継続して必要がある。
- ・排水路の修繕や定期的な浚渫は、排水路本来の機能を回復させることができ、近年の短時間豪雨による被害の軽減にも繋がった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|--|-----|----------------------|
| 所属名 | 産業建設部 維持管理課 | No. | 4 |
| 事業名 | 調整池維持管理事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 3 | 災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する |
| | 基本政策 | 1 | 安全安心の地域社会形成 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | ・ 調整池の維持管理・修繕 | | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大口余野特定土地区画整理事業により建設された余野1号調整池及び余野2号調整池は、建設後20年以上が経過し、分電盤等の修繕を行っている。 ・ 調整池は、今後、施設の老朽化に伴い、修繕の増加が予想されるが、大雨時の一時貯留施設としての機能を確保するためにも、日常巡視や点検により、施設の不具合の早期解消をしていかなければならない。 ・ 県施設である奈良子川調節池と昭和川調節池は、愛知県一宮建設事務所から維持管理委託を受託している。 <p>※昭和川調節池は、2年ごとに江南市と交替で管理。</p> | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨時に備え、各調整池（余野1号調整池、余野2号調整池、余野調整池、替地調整池）を定期的に点検し、維持管理を行う。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---------|--|
| 4～ 3 | 奈良子川調節池の維持管理委託契約 余野等調整池の点検業務発注（町施設） ※昭和川調節池は、2年ごとに江南市と交替で管理。 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 2,371 | 2,898 | 2,735 |
| （内特定財源） | | 千円 | 1,860 | 1,860 | 930 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 人工 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|--------------|-----|----------|
| 奈良子川調節池管理委託金 | 930 | |
| 合計 | 930 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------|-----|-----|----|
| | | | |
| | | | |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ポンプを有する調整池（余野1号調整池、余野2号調整池、余野調整池、替地調整池）において、ポンプ引上げ点検、制御盤点検等を行った。
- ・地域団体に調整池（余野1号調整池、余野2号調整池、奈良子川調整池）の草刈りを委託した。
- ・台風の通過前後や大雨が予想される際は、調整池の状況を確認し、必要に応じ、排水処理等を行った。
- ・調整池の保守点検の結果、ポンプに不具合が見つかったため、修繕、取替を施工した。

■ 評価

- ・地域団体からの情報提供や職員による巡視により、調整池を適切に管理し、大雨時の一時貯留施設としての機能を確保することができた。
- ・調整池の保守点検では、ポンプに不具合が見つかったため、修繕、取替を施工したことで、治水安全度が確保できた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|--|--|------------------------|
| 所属名 | 産業建設部維持管理課 | No. | 5 |
| 事業名 | 緑化推進事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 5 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 基本政策 | 1 | 環境保全 |
| 目的 | 緑豊かな生活環境、秩序ある生活環境を維持するために、緑地の保全を行う。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保全地区、保存樹木を健全に保全するため交付金を交付 ・都市緑化推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの少年団の育成補助 ・みどりの募金事業 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域で親しまれ、大切にされている大木や古木、民有緑地を保全するための支援を行っている。 ・ふれあいまつりで苗木を配布し、住民の緑化意識を高め、民有地の緑化に繋がるように取り組んでいる。 ・民有地の緑化推進のため、平成28年4月、大口町都市緑化推進事業費補助要綱を策定し、一定規模の優良な緑地等に補助金を交付することとした。 | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいまつりで苗木を配布することにより、多くの住民に緑化に関心を持ってもらえるように努める。 ・民有地の緑化を推進するため、あいち森と緑づくり事業を活用した、大口町都市緑化推進事業を実施する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|---|
| 4~ | 大口町緑化推進事業費補助金の募集 大口町緑化推進事業費補助金交付申請書受付、交付決定通知 |
| 3 | 大口町緑化推進事業費補助金実績報告書、請求書受領、補助金交付 |
| 11 | ふれあいまつり苗木配布事業 |
| 2 | 保全地区、保存樹木の確認及び交付金の交付 |
| | 緑の募金 |
| 4 | 役場窓口等で募金を実施 |
| 9 | 役場窓口等で募金を実施 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 290 | 5,296 | 5,296 |
| （内特定財源） | | 千円 | 0 | 5,000 | 5,000 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 人工 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|---------------------|-------|-------------|
| 愛知森と緑づくり都市緑化推進事業交付金 | 5,000 | 大口町都市緑化推進事業 |
| 合計 | 5,000 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------|-----|-----|----|
| | | | |
| | | | |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 11月3日（日）開催のふれあいまつりで、温州みかんの苗木（200本）を配布し、各家庭での樹木育成を通じた緑化を啓発した。同時に、都市緑化推進事業補助のちらしを配布し、事業の周知に努めた。
- ・ 愛知県による愛知森と緑づくり都市緑化推進事業は、本年度から補助対象要件が緩和されたため、広報やホームページにておしらせを行った。住宅の新築に併せた個人2件の補助事業に関する相談があり、申請手続きを進め、補助金を交付した。

■評価

- ・ ふれあいまつりでの苗木配布について、樹種を温州みかんを準備したところ、配布開始後、30分程度で配布終了し、好評であった。次回も喜ばれる樹種を選定し、緑化に関心を持ってもらうきっかけになるように努める。
- ・ 都市緑化推進事業について広報等でおしらせしたことで、一般の方に広く知っていただくことができた。引き続き、民有地の緑化推進に努める。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | | |
|---------------|--|---|--|---|
| 所属名 | 建設部維持管理課 | | No. | 6 |
| 事業名 | 公園維持管理事業 | | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 5 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | |
| | 基本政策 | 1 | 環境保全 | |
| 目的 | 住民の憩いの場所として、清潔な公園をめざす。 | | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の修繕 ・草刈り、樹木の維持管理 | | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の安全点検 ・遊具の更新 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の樹木がかなり成長し、定期的な剪定が必要になってきている。また、落ち葉についても近隣の居住者に迷惑がかからないように対応する必要がある。 ・多世代が集う憩い広場内のトイレは、平成30年1月から使用を開始し、地域団体に清掃業務を委託している。 ・松江市との姉妹提携による遠方からの来訪者や桜の時期の来訪者のため、堀尾跡公園や周辺施設の啓発、駐車場の計画を検討する必要がある。 ・都市公園の照明灯について、水銀灯からLEDへの取替えを進めている。 ・トイレの老朽化に伴う改修に併せ、都市公園及び児童遊園の洋式トイレへの更新を進めている。 | | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の活動の場として、また、住民に愛着をもって公園を利用してもらうためにも、行政主体の管理運営ではなく、地域と行政との協働による管理運営を進めていく。 ・公園の照明灯を水銀灯からLEDに取り替え、ランニングコスト縮減に努める。 ・遊具の保守点検結果を踏まえ、計画的に遊具を更新する。 | | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---------|-------------------------|
| 4～ 3 | 公園維持管理委託（樹木の剪定、トイレ等の清掃） |
| 5 | 遊具更新工事 |
| 7 | 照明灯取替え工事 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 44,795 | 49,561 | 43,816 |
| （内特定財源） | | 千円 | 110 | 55 | 62 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.1 | 0.6 | 0.6 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 人工 | 0.1 | 0.6 | 0.6 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|------------|----|----------|
| 行政財産目的外使用料 | 62 | |
| 合計 | 62 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|-------------------|-------|------|-----------------------------|
| 遊具改修等工事費（工事請負費） | 1,309 | 13 | 上小口西児童遊園のブランコ等の更新 |
| 公園内照明取替工事費（工事請負費） | 1,085 | ▲466 | 余野5号・6号公園照明灯の取替え（水銀灯→LED照明） |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・年間を通じた、町内の公園の遊具、照明器具等の修繕の他、痛みが著しい裁断橋の床板の部分修繕、仲沖児童遊園のネットフェンスの修繕、余野6号公園の遊具の塗装を施工した。
- ・地域団体等に公園の草刈りやトイレの管理、樹木剪定等を委託した。
- ・雑草や樹木の害虫駆除の早期対応、遊具の保守点検等を実施し、公園を快適に利用してもらえるように努めた。
- ・遊具の点検結果を踏まえ、上小口西児童遊園の3連ブランコ、3連鉄棒を改修した。
- ・余野5号公園（10灯）及び余野6号公園（18灯）の照明を水銀灯からLEDに取り替えた。
- ・名古屋鉄道株式会社の協力を得て、布袋駅構内に堀尾跡公園と五条川桜のPRポスターを、平成31年3月上旬から4月上旬まで掲示した。

■評価

- ・「多世代が集う憩い広場」の管理については、地域に関わりを持てるような管理の体制を整えることができた。今後も、地域住民に愛着をもって利用・管理できるように地域と協働しながら進めていく。
- ・公園（余野5号・6号公園）の照明を水銀灯からLEDに取替えたことによって、ランニングコストの軽減が図られた。今後、竹田公園（18灯）の整備を進めていく。
- ・保守点検結果を踏まえ、遊具の更新を行ったことで公園施設の安全環境の維持ができた。今後も、定期的な保守点検に努め、利用者の安全確保を行う。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|---|-----|-------------------------|
| 所属名 | 産業建設部維持管理課 | No. | 7 |
| 事業名 | 公園整備事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 5 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する。 |
| | 基本政策 | 1 | 環境保全 |
| 目的 | 住民ニーズに適合した快適で利用しやすい公園（広場）の計画を行うとともに、地域住民による公園の管理についても併せて検討することで、潤いや安らぎのある場・空間の整備に努める。 | | |
| 事務内容 | ・ 余野 1 号公園の整備 | | |
| 現在における経過又は課題 | ・ 多世代が集う憩い広場は、基本設計方針の策定にあたり、北小学校校区の地域住民とともにワークショップを行い、詳細設計に反映した。平成 28 年度から平成 30 年度にかけ、県費補助の採択を受けて工事を施工し、平成 31 年 3 月に完成した。 ・ 余野 1 号公園は、平成 23 年度より 2 か年で整備を予定していたが、近隣住民の意向で中止した経緯がある。現状、周辺に新しく住宅が建築されており、今後は計画の段階から住民の意見等を取り入れた整備を検討する必要がある。 | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | ・ 現在、整備計画が休止している余野 1 号公園について、改めて、その方向性と進め方に関する検討を開始する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---------|-------------------|
| 4～ 3 | 余野1号公園の方向性と進め方の検討 |

■事業コスト

| | | 単位 | H29年度決算額 | H30年度当初予算額 | R1年度計画額 |
|---------|------|----|----------|------------|---------|
| 事業費 | | 千円 | 81,862 | 96,000 | 0 |
| （内特定財源） | | 千円 | 43,950 | 66,915 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.7 | 0.4 | 0.3 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 人工 | 0.7 | 0.4 | 0.3 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|--------------------------|-----|---------|---------------------|
| 多世代が集う憩い広場公園整備工事費（工事請負費） | 0 | ▲96,000 | 多世代が集う憩い広場公園整備工事の完了 |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■目標又は改善策に対する取組内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・余野1号公園について、平成23年度当初予算に整備費を計上し、住民説明会を開始する等、検討を重ねたが、最終的に整備に至らなかった経過について、当時の資料をもとに検証した。 |
|---|

■評価

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在、公園予定地周辺で、住宅建設が進んでいるため、地域の方の意見等を聴き取り、方向性を検討する必要がある。 |
|--|

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|---------------|---|-----|---|
| 所属名 | 産業建設部維持管理課 | No. | 8 |
| 事業名 | 町営住宅管理事業 | | |
| 総合計画の体系 | 基本目標 | 3 | 災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する |
| | 基本政策 | 2 | 生活基盤 |
| 目的 | 町内の住宅に困窮する低額所得者に対して低廉の家賃で賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅運営管理業務 ・町営住宅維持管理業務 | | <ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅長寿命化計画策定業務 |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に植松住宅入居者を対象に実施したアンケート、国の動向等を踏まえ、令和元年度に長寿命化計画を策定し、改善や修繕をしながら、町営住宅全体の長寿命化を図っていくことに方針決定した。 ・これまで用途廃止する方針だった植松住宅は、他の町営住宅と併せ、耐震性を確保した上で、存続する方向とした。 ・平成30年8月、議会に対し、前述の内容を説明した。 ・平成30年9月、植松住宅入居者を対象とした説明会を開催し、前述の内容を説明した上で、入居者全体から了承を受けた。 ・入居者の高齢化が進んでいる。今後策定する長寿命化計画において、住宅のバリアフリー化を行うとともに、福祉部局とも連携しながら進める必要がある。 ・入居者への安全・安心を確保するため、町営住宅の維持管理に努める必要がある。 ・高額所得者等に対する措置を実施し、高額所得者明渡事務処理要領に基づき高額所得者明渡請求を行う。 | | |
| 令和元年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に改善や修繕を行いながら、町営住宅全体の長寿命化を図っていくため、「(仮称)大口町町営住宅長寿命化計画」を策定する。計画の策定にあたっては、「公営住宅等長寿命化計画策定指針」(国土交通省)に沿って進める。 ・入居者の生活を営むに足る住宅であるよう、維持管理に努める。 ・高額所得者については、家庭状況を聞き取りし、適切に対応していく。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作 業 内 容 | |
|----|-------------------------------------|-----|
| 毎月 | 町営住宅管理業務 [運営管理] | 4~3 |
| 10 | 納付書発送、督促状催告書発送 | |
| 12 | 家賃決定 | |
| 随時 | 収入超過者認定、高額所得者認定通知 移転のための意向調査、相談等 | |
| 5 | [維持管理] | |
| 6 | 受水槽清掃 | |
| 11 | 簡易専用水道検査、消防設備（消火器）点検 | |
| 随時 | 消防設備（消火器）点検 公園・空き家等除草処理 | |

■事業コスト

| | | 単位 | H29 年度決算額 | H30 年度当初予算額 | R1 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|----------|
| 事業費 | | 千円 | 2,029 | 4,863 | 4,251 |
| （内特定財源） | | 千円 | 2,029 | 4,863 | 4,251 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 人工 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

| 特定財源名称 | 金額 | 備考（充当先等） |
|-------------|-------|---------------|
| 行政財産目的外使用料 | 15 | |
| 町営住宅使用料 | 2,886 | |
| 社会資本整備総合交付金 | 1,350 | 長寿命化計画策定（委託料） |
| 合 計 | 4,251 | |

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

| 項目（科目等） | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|---------------|-------|-------|---------------|
| 長寿命化計画策定（委託料） | 2,950 | 2,950 | 町営住宅長寿命化計画の策定 |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・照明灯や配水管等、入居者からの修繕依頼に対し、生活に支障が出ないように迅速に対応した。
- ・小口住宅の受水槽・高架水槽の清掃及び水質検査等、定められた検査を実施した。
- ・計画的に改善や修繕を行いながら、町営住宅全体の長寿命化を図っていくため、令和2年3月、「大口町町営住宅等長寿命化計画」を策定した。

■評価

- ・現状を把握するため、入居者へのアンケート、現地調査を行った上で、「大口町町営住宅等長寿命化計画」を策定した。次年度以降は、全棟の耐震性を確認した上で、詳細な改善・修繕方法等を検討し、国の交付金を活用しながら長寿命化を図っていく。
- ・町内の被災者支援（住宅を失った被災者）として、期間を設け、使用料免除で入居を許可した。公営住宅としての役割を果たすことできた。